



2017-18年度
国際ロータリー第2790地区第3分区B

インターシティーミーティング



ロータリー：
変化をもたらす

| | | |
|--------|-------------------------|------------|
| 開催日時 | 2018年2月7日(水) | 開会点鐘14:00 |
| 開催場所 | 千葉京成ホテルミラマーレ | |
| 主催 | 国際ロータリー第2790地区 第3分区B | |
| ホストクラブ | ガバナー補佐 | 小池 清二 |
| | 第3分区B | 市原ロータリークラブ |

第3分区B

千葉港ロータリークラブ
千葉北ロータリークラブ
千葉南ロータリークラブ

市原中央ロータリークラブ
千葉緑ロータリークラブ
市原ロータリークラブ

2017-18 年度 国際ロータリー2790地区 第3分区B インターシティミーティングプログラム

日 時：2017年2月7日(水) 点鐘 14:00
会 場：京成ホテルミラマーレ 6階ローズルーム
司会進行：市原RC 会長 山本順也

- 14:00 開会点鐘……………第3分区Bガバナー補佐 小池清二
国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
開会挨拶……………ホストクラブ会長 山本順也
講師の紹介

- 14:10 ガバナー補佐挨拶……………第3分区Bガバナー補佐 小池清二

- 14:15 基調講演

「分かち合おう・親しもうロータリー」

講師 二神 典子（東京築地ロータリークラブ会員）
元「ロータリーの友」編集長

- 3クラブ発表 （8分程度の映像発表・・・クラブ運営・奉仕活動等の実績
これについて二神講師の講評があります
サプライズ （参加者との会話・談義）

- 15:45 直前ガバナー補佐へ記念品贈呈……………第3分区B直前ガバナー補佐 金親博榮
次期ガバナー補佐紹介とご挨拶……………次期ガバナー補佐 山崎喜雄
次期ホストクラブ紹介（千葉港RC）

- 16:00 閉会挨拶……………ホストクラブ会長 山本順也
閉会点鐘……………第3分区Bガバナー補佐 小池清二
諸事お知らせ……………市原RC 会長 山本順也

— 休憩 —

- 16:20 懇親会……………司会（市原RC 副幹事）箕輪 貴之
開会挨拶……………ガバナー補佐 小池 清二
乾杯……………第3分区B 次期ガバナー補佐 山崎 善雄

— お食事・懇談 —

アトラクション 三井造船(Swing Vessels)楽団演奏
ボーカル かづみ

- 18:30 閉会……………市原RC 会長ノミニー 篠田 美幸

RID2790第3分区B I.M.に寄せて

第2790地区ガバナー

寺 嶋 哲 生

(柏RC)



この度、2017-18年度RID2790第3分区BのInter-city Meetingが、小池清二ガバナー補佐のご尽力の下にご盛会の内に開催されます事、誠におめでとうございます。

ご準備頂きました皆様には、心より感謝申し上げます。

I.M.とは、懇談等を通じた会員相互の友好や、ロータリー活動に関する情報伝達や知識の向上を目的とし、近郊都市の複数のクラブが合同で開催する集まりです。

分区内の全会員が参加される機会でありますので、ロータリーについて多くを学び、多くの知己を得る貴重な場でありましょう。

本年度のRI会長テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」であります。

イアン・ライズリーRI会長は、自分にとってのロータリーとは「どのような団体か」ではなく「何をしているか」で定義されると述べ、私達ロータリアンには実践的奉仕プロジェクトを通じて人々の人生や境遇に好ましい変化をもたらそうと呼び掛けていらっしゃいます。

皆様が、ロータリアンとして奉仕の理念をより深く認識し、あるいは具体的な奉仕プロジェクトを実践する大いなる気付きを得る。

このI.M.が、参加される皆様にとって有意義な時間となります事を願っております。

第3分区Bの各クラブのご発展と会員各位のご活躍を心よりご祈念申し上げ、RID2790第3分区BのI.M.に臨むご挨拶と致します。

IM(Intercity Meeting)開催に当たって

第3分区ガバナー補佐

小池 清二

(市原RC)



IMは分区単位で勉強と親睦を深める会合として、古くから定着し開催されて参りました。

1997年からDLPが採用され、ガバナー補佐の主催となりました。勉強方法は分区のクラブが共通のテーマで語り合ったり、ロータリーの理念のセミナーや、話題性のある講師の講演だったり多様性が採られています。

今年度RIイアン・ライズリー会長は「ロータリー・変化をもたらす」と提唱し、奉仕活動を促し、世界の人々を幸せにしようと訴えております。寺嶋ガバナーは「理念と実践」を唱え、ロータリアンの奉仕活動は、勉強したロータリー理念を基に奉仕の実践をすることが、他の人々の行動より価値があり、人々をより幸せに出来るのですと推奨されております。

私はガバナー補佐として、クラブの活性化を念頭に置き活動して参りました。各ロータリークラブは大変素晴らしい奉仕活動を実施しておりますが、他のクラブには知れ渡っておりません。理解をして、共同作業になればもっと大きい事業となり、反響が大きく、世の為人の為になるものと推察いたします。

私達ロータリアンが、ロータリーの理念の勉強と奉仕の実践例を学ぶには、毎月購読している「ロータリーの友」が身近にございます。ロータリアンの3大義務の1つに「ロータリーの友」を読むことがあります。読まれないベストセラーと言われており残念です。

「ロータリーの友」は1953年1月発刊から今日までロータリーの目的を推進するための教本として1065冊続刊されて参りました。多くのロータリアンが勉強出来たと思います。

15年間の「ロータリーの友」の編集長に就任して参りました、二神典子様を本日の基調講演にお招きし、1時間30分の長時間にわたる勉強会をお願いしてございます。ロータリアン、クラブから国際ロータリー迄の幅広い活動情報を採集し、編集し、ロータリアンの成長とクラブの活性化の思いを込めて作成され、私たちに配布されて居るのでございます。内容はロータリーの理念関係と、奉仕活動関係記事が多く、読めば理解が深まり、奉仕活動の実践の意欲が奮起されるものと思います。

さあ、皆さん、本日はその「ロータリーの友」のknow-howをご教授頂き、明日からのロータリー生活に役立つよう勉強しましょう。

お疲れの後は、各クラブの皆様のご支援により楽しいアトラクションもございますのでお楽しみ頂ければ幸いに存じます。

本日はご参加、誠に有難うございました。

IM 基調講演

分かち合おう・親しもうロータリー

講師

二神典子

元「ロータリーの友」編集長
(東京築地RC)

ロータリーの基本は「クラブ」だと言われています。ロータリアンは皆、いずれかのロータリークラブに所属して、自らのクラブを中心に活動をしています。

一方で、そのロータリークラブは国際ロータリー(RI)の会員ですから、RIの規則や活動方針を十分に理解し、活動をしなければいけません。また、世界中に約36,000、日本国内に約2,300ロータリークラブがありますが、それらのクラブの会員と情報交換したり、共に活動をしたり、親睦を深めることができるというのも、ロータリアンの特典であると思います。

ロータリアンの中には、自分のクラブの例会に出席したり、活動をしたりするだけで、RIどころか、近隣のクラブにさえ興味を持たない人がいます。一方、地区の活動やFacebookなどでの交流を通して他クラブの会員との交流を楽しみ、自らのクラブをあまり顧みない人がいます。どちらか一方だけでは、ロータリーの良さを十分に享受することはできないでしょう。大切なのは、その両方とバランスよく付き合っていくことです。

例会に行った時、すべての会員とあいさつを交わしますか。先輩会員は積極的に新会員に声を掛けていますか。クラブの活動に若い会員の意見を取り入れていますか。新会員は先輩会員からロータリーのことを聞いていますか。ご家族にロータリーのことを話していますか。従業員の方々にロータリーの話をしていますか。地域の人たちにロータリーについて話していますか。地域の人たちの声を聴いていますか。このコミュニケーションこそが、ロータリーで大切なものです。

インターネットの発達によって、多くの情報がネット経由で入ってくるようになりました。いつでも、どこでも、必要な情報がスマートフォンの中にあります。しかし、それらの情報を生かし、そこからアイデアを広げ、活動に結びつけていくのは、実際に顔を合わせながら話をするのが一番だと思います。

ロータリアンは個性的な人たちの集まりだと思います。しかし、その個性がクラブの中で十分に生かされているでしょうか。同時に、ロータリークラブも多様性に富んでいます。しかし、クラブの特徴を生かして他クラブと違う魅力を発揮できているでしょうか。

一人ひとりが個性を存分に発揮し、個性豊かなロータリークラブをつくり、楽しくロータリー活動をしていきましょう。

講師略歴

【学歴】1978(昭和53)年3月 島根県立松江北高等学校卒業
1982(昭和57)年3月 青山学院大学法学部公法学科卒業
1996(平成8)年9月 法政大学大学院修士課程修了(経営学修士)
2000(平成12)年4月～2003年3月 愛知学院大学大学院 研究員

【職歴】1984(昭和59)年4月 ロータリーの友事務所 入社
2002(平成14)年7月 ロータリーの友 編集長
2010(平成22)年6月 一般社団法人ロータリーの友事務所理事
2017(平成29)年7月 フリーランスの編集者として活動開始

【ロータリー歴】

2009年(平成21年)11月 東京築地ロータリークラブ入会(第2750地区)
2010～11年度 RI公共イメージ支援グループ・第2ゾーン・コーディネーター
2011～14年度 ロータリー公共イメージ・コーディネーター(第2ゾーン)
2013～14年度 第2750地区公共イメージ委員長
2016～17年度 第2750地区広報副委員長
2017～18年度 第2750地区公共イメージ委員会、規定審議委員会、国際親善委員会委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3 米山功労者2

第3分区B IM 懇親会アトラクション 三井造船 スイングベッセルズ

きらめくジャズをあなたに!

2月7日(水) 16:20~

Swing Vessels

曲目

1. ベッサメムーチョ
2. Sway
3. 小さな花
4. Autumn Leaves
5. Moon River (V)
6. The boy from Ipanema (V)
7. Fly me to the moon
8. Over the rainbow
9. 酒とバラの日々 (V)



出席者名簿

| | | |
|--------------|----------------------|------|
| 千葉南ロータリークラブ | 会長 向後 保雄 幹事 水野 浩利 | 23名 |
| 千葉港ロータリークラブ | 会長 鈴木 芳明 幹事 長澤 秀樹 | 19名 |
| 市原中央ロータリークラブ | 会長 時田 清次 幹事 宮寺 仁 | 15名 |
| 千葉北ロータリークラブ | 会長 君塚 幸申 幹事 樋口 雅久 | 14名 |
| 千葉緑ロータリークラブ | 会長 渡部 勲 幹事 横井 快太 | 15名 |
| 市原ロータリークラブ | 会長 山本 順也 幹事 高澤 豊昭 | 26名 |
| | 合計 | 112名 |

IM (Intercity Meeting)とは？

IMとはIntercity Meetingの頭文字で、近隣都市の複数のクラブで実施する都市連合会のことです。グループ(地理的状态や広さなどにより、地区が幾つかのクラブに区分されている)、分区単位でのクラブや、大都市の場合、その都市内の数クラブの会員が集まり、合同で行う自由討論会であり、ガバナー補佐が主催することが多いようです。その目的は第一に会員相互の親睦と交流を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、優れたロータリアンの養成にあります。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーを学ぶ集いです。ですから、決議や決定はなく、討論の主な内容は、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。会員相互の親睦と知識を広めることであり、さらに、会員にロータリー情報を伝え、勉強するために開催されます。

テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならない問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

Rotary

